

RCCの名称：常滑ハートケアサークル

1. 活動目標

登校拒否は、これまで特定の子供に起こるものだと考えられていました。しかし、登校拒否になった子供をよく観察してみると、普通の子供でもある程度共通して持っている「学校へ行きたくない」という意識の一時的な行動の現れであり、どの子供にも起こりうる現象であると考えられるようになりました。

このRCCの活動目標は、「登校拒否」の減少と「いじめ」・「校内暴力」の根絶を目指すと共に、豊かな心を持ち、たくましく生き抜きことのできる児童・生徒の育成を図ることです。

2. 活動状況の一例

(1) 「教育講演会」の開催

2006年8月

演題「ひきこもりとは何か」 講師：愛知県立大学助教授 長谷川俊雄先生

近年ひきこもりの件数は増加の傾向をみせ、様々な問題を引き起こしています。ひきこもり状態にある人は全国に50～100万人と推定されていますが、厚生労働省の調査結果によれば、ひきこもりの子を持つ家庭は全国で約41万世帯にのぼることです。そこでなぜひきこもりがおきるのか、どういう対処がされているのかなど実際に取り組んでいる現場の先生にお話を伺いました。

(2) 「適応指導教室（スペースばるーん）のイベント」の開催

2007年2月

適応指導教室に通う児童、生徒の作品を展示し、手作りお菓子で日ごろお世話になっている方々をもてなすためのイベントを開催した。会場内ではヴァイオリンや手作りのマラカス等の演奏で楽しい雰囲気を盛り上げた。





日頃の活動報告



児童・生徒の作品集

